



ご家族・お友達をお誘いのうえ お気軽にご来館ください!

つるし雛展

「つるし雛」は、初節句を迎えた娘の幸せを祈り、はぎれで作ったぬいぐるみを竹ひごの輪から赤い糸に下げて飾る、江戸時代から伝わる風習です。「つるし雛コンテスト」に参加された各地区コミュニティの作品を展示します。

期 間 1月10日(金)～1月21日(火)
会 場 沼津市立図書館4階展示ホール



富士山の日イベント企画

講演会

演 題 「生涯の師、富士山!!」

じつかわ よしのぶ

講 師 登山家 實川 欣伸氏

(沼津市在住)

日 時 2月23日(日)
13:30～15:00(開場13:00)

会 場 沼津市立図書館4階視聴覚ホール

定 員 200人(定員になり次第締切)

対 象 小学生以上

申込方法 平成26年2月6日(木)9:30から電話で

企画展

全国にある、「富士」と名のつく地元自慢の「見立て富士」の美しさを競う、静岡県主催「秀景ふるさと富士写真コンテスト」の過去の入選作品の中から一部を展示します。

期 間 2月15日(土)～23日(日)

会 場 沼津市立図書館4階展示ホール



2月24日～3月5日まで特別整理期間のため休館となります。

◎広報ぬまづ・館内ポスター・チラシ等もあわせてご覧ください。

◎駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

図書館カレンダー

| 平成26年 1 月 | | | | | | | 平成26年 2 月 | | | | | | | 平成26年 3 月 | | | | | | |
|-----------|----|----|----|----|----|----|-----------|----|----|----|----|----|----|-----------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | | | | | | | 1 | | | | | | | 1 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| | | | | | | | | | | | | | | 30 | 31 | | | | | |

■ …休館日

開館時間 火・水・木 …………… 午前9時30分～午後6時30分
金 …………… 午前9時30分～午後9時
土・日・祝日・振替休日 …… 午前9時30分～午後5時

新着図書のご案内

新着図書の中から一部をご紹介します。
また、図書館ホームページや館内の検索用パソコンでも見ることができます。

沼津市立図書館

【一般書】

| | | |
|----------------------|---------------------|----------|
| ★ 今こそ本気の神社まいり | 西邑 清志／著 | 主婦の友社 |
| ★ 迷惑メール、返事をしたらこうなった。 | 多田 文明／著 | イースト・プレス |
| ★ ちょっと待ったその就活！ | 上田 晶美／著 | 技術評論社 |
| ★ 宇宙が始まる前には何があったのか？ | ローレンス・クラウス／著 青木 薫／訳 | 文藝春秋 |
| ★ はかりいらずの混ぜて焼くだけおやつ | 飯塚 有紀子／著 | KADOKAWA |
| ★ 箱根駅伝 | 読売新聞運動部／著 | 中央公論新社 |
| ★ 五峰の鷹 | 安部 龍太郎／著 | 小学館 |
| ★ ノボさん | 伊集院 静／著 | 講談社 |
| ★ さらばスペインの日日 | 逢坂 剛／著 | 講談社 |
| ★ 私のなかの彼女 | 角田 光代／著 | 新潮社 |
| ★ いにしえの光 | ジョン・バンヴィル／著 村松 潔／訳 | 新潮社 |

【児童書】

| | | |
|--------------------|---------------------|--------|
| ☆ こうさぎと4ほんのマフラー | でぐね いく／絵 わたり むつこ／作 | のら書店 |
| ☆ とてもおおきなサンマのひらき | 岡田 よしたか／作 | ブロンズ新社 |
| ☆ 官兵衛、駆ける。 | 吉橋 通夫／著 | 講談社 |
| ☆ おとのさま、でんしゃにのる | 中川 ひろたか／作 田中 六大／絵 | 佼成出版社 |
| ☆ ぼくたちはなぜ、学校へ行くのか。 | マララ・ユスフザイ／述 石井 光太／文 | ポプラ社 |

「予約の多い本」の寄贈のお願い

図書館では、図書などの予約サービスを行っておりますが、人気があり予約の多いものは利用者の皆様に何ヶ月もお待ちいただくこともあります。購入冊数にも限りがあるため、読み終えてご不用になった本がございましたら、ぜひ図書館にご寄贈くださるようお願いいたします。

今回、寄贈していただきたい本は下記の本です。皆様のご協力をお願いします。

| 書名 | 著者 | 出版社 |
|-------------|-------|---------|
| 祈りの幕が下りる時 | 東野 圭吾 | 講談社 |
| ロスジェネの逆襲 | 池井戸 潤 | ダイヤモンド社 |
| とっぴんぱらりの風太郎 | 万城目 学 | 文藝春秋 |
| オレたちバブル入行組 | 池井戸 潤 | 文藝春秋 |
| だから荒野 | 桐野 夏生 | 毎日新聞社 |

【寄贈受付場所】

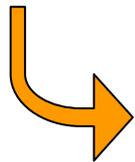
- 沼津市立図書館
- 沼津市立戸田図書館



本のリサイクルコーナーを 設置しました

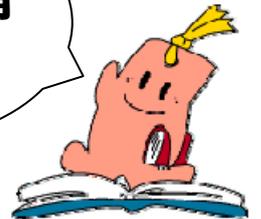
図書館が保存する必要がなくなった図書や雑誌を無料でお譲りします。

場所：市立図書館2階エレベーターホール



- 1人5冊まで、ご自由にお持ち帰りください。
(営利を目的とした利用はご遠慮ください)
- 全て無料です。
- 持ち帰り用の箱や袋は各自でご用意ください。
- リサイクル本の予約や、取置きはできません。
- 不要本の持込はお受けできません。
- リサイクル本の無い日もあります。

どうぞご利用
ください♪



★ 例年開催していた「本のリサイクル市」は行いません。



おはなし会のお知らせ

おはなしふくろう

2月 1日(土)
3月29日(土)

アンの部屋

1月11日(土)
2月 8日(土)
3月 8日(土)

グループあおむし

1月25日(土)
2月22日(土)
3月22日(土)

あかずきんちゃん

1月19日(日)
2月16日(日)
3月16日(日)

ラディッシュ

1月18日(土)
2月15日(土)
3月15日(土)

午後2時から
おはなしの部屋
です！



郷土ゆかりの作家たち

(4) 若山 牧水 (わかやま ぼくすい)

若山牧水は、明治18年8月24日の朝、宮崎県東臼杵郡東郷村大字坪谷(現在の日向市)の若山家に立蔵、マキの長男繁として生まれました。祖父健海、父立蔵ともに医師でしたが、牧水は医師にはならず文学を志し、歌人としての生涯をおくります。

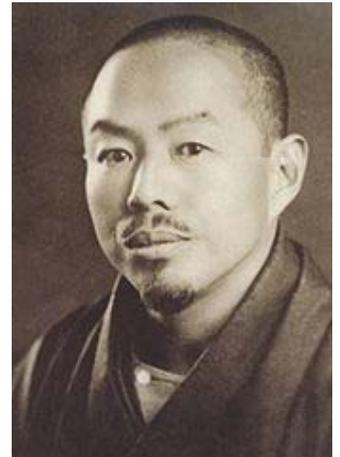
牧水は、中学在籍中から短歌・俳句などを作り始め、早稲田大学へ入学します。同期には北原白秋きたはらはくしゅうがおり、交友がありました。在学中は尾上柴舟先生について歌を学び、学友らと回覧雑誌を発行し小説を書いたりしていました。卒業後、歌集「別離」が世に認められ、注目をあびます。自然主義の影響を受けながら、「牧水調」と呼ばれる流麗な作風の歌を発表していきます。

牧水は28歳の時に太田喜志子と結婚し、東京での暮らしを始めます。そして大正9年、36歳の時に、念願だった田園生活を送るため、一家で沼津に移住しました。随筆「香貫山」や「土を愛する村」などは現在の文化センター東側に住んでいた当時の沼津近郊の風物を描いたものです。また、香貫山や愛鷹山の魅力を世に紹介するような短歌も多数残しています。

伊豆西海岸の土肥や下田、天城などへも頻繁に足を向けており、「伊豆紀行」など紀行文も多くあります。特に、湯河原温泉に3週間ほど泊まり、山桜の咲き始めから散り終わるまでを連作にした「山桜の歌」は有名です。

牧水は昭和3年、43歳で千本松原の自宅で死去します。大好きであったお酒のせいで、命を縮めたといわれています。遺骨は千本山乗運寺の墓地に埋葬されました。

牧水が朝夕に散歩した千本公園には亡くなった次の年に最初の歌碑が建てられ、「幾山河 こえさりゆかば 寂しさの はてなむ国ぞ けふも旅ゆく」という歌が刻まれています。この歌は「一体いくつの山や河を越えていったら、寂しさが果てる国があるのだろうか。そのようなところはないのかもしれない。それでも私は、今日も旅を続けていく。」という意味です。明治40年の夏、旅の途中で作った作品で、牧水の代表作といわれています。歌碑はその他にも牧水が富士山や駿河湾の眺めを楽しんだ香貫山や三島、伊豆など県内外で多数作られています。昭和62年には、千本松原に「沼津市若山牧水記念館」が建設されており、沼津になじみ深い歌人として親しまれています。



千本公園の歌碑の写真

参考文献

- | | |
|-------------|-----------------|
| 『名歌即訳若山牧水』 | 大谷 和子 著／ぴあ発行 |
| 『若山牧水の生涯』 | 中尾 勇 著／随筆春秋発行 |
| 『若山牧水ものがたり』 | 楠木 しげお 著／銀の鈴社発行 |
| 『沼津路上観察記』 | 沼津市広報広聴課 編 |